



ユニバーに帯同して

オリエンテーリングクラブ・トータス 小山温史

★はじめに

私はトレキャンの期間 6 月 25 日～6 月 30 日にユニバーに同行した。

トレキャン期間にしか参加しなかったため競技の課題については吉田さんにお任せすることにする。私からはどのように準備していけばよかったか反省をこめて書かせてもらう。

★コーチとして帯同することになった理由

自分がコーチとして帯同した理由は 3 点ある。

1. 選手から来て欲しいという要望をもらえた。

選手たちから来て欲しいということをお願いしてもらえた。行けるとしても、休みは 1 週間しか取れず、2 週間あるトレキャン～本戦すべてを帯同することは出来なかったから行くか悩んでいた。そこで誘ってもらえたのは大きかった。

来て欲しいコーチがいれば積極的に声をかけて欲しい。誘われて嬉しくない人はいない。

2. 身近なコーチとしてアドバイス出来る。

選手の中でユニバーの経験者が谷川しかいなかったため、気軽に相談できる存在として

役に立てると考えた。リーダー代わりに何か決定をする際にも使ってもらえたかなと思っている。自分は毎年海外でオリエンテーリングをしていて海外でのオリエンテーリングについてアドバイス出来るとも考えていた。

3. スペインでオリエンテーリングがしたかった。

過去にスペイン遠征した時にオリエンテーリングをしてとても楽しかったため、是非また一度やりたかった。完全な私的な理由だ。

★出発前

メンバー同士のコミュニケーションがちゃんととれるように心がけた。

今回のユニバーはセレクションから 2 ヶ月で本戦という非常に短いスケジュールというのが大きな課題であった。全員揃う日も殆ど無かった。

海外対応の準備の時間はあまりなくても、現地でチーム一丸となることは重要なのでコミュニケーションがとれるようにアドバイスをした。

最初は話したことの無い人もいたようだが、最終的には選手皆が仲良く楽しくやっていた。

★現地にて

今年はインカレのセレクションの関係で選手があまり早く現地入りすることが出来なかった。遠征では現地に慣れることが特に重要である。慣れない地で体調を整えるのは難しいので、本当は早く現地入りして欲しかった。代わりに、自分が選手より一足先にスペインに入った。向こうでの生活に慣れ、着いてすぐの選手たちにどうすればよいかアドバイス出来るように準備させてもらった。

スペインは生活リズムが独特である。毎日、昼休みをするシエスタというものがあるし、時間が日本より全体的に遅い。これはとても生活する上で違和感があった。行動すべてが 2 時間ほど遅いような生活をしているのだ(夕飯を 21 時に食べるのが普通だったりする)。行ってすぐだとこれになかなか気づけない。それに加え、他に切符の買い方・電車の乗り方や飲食物の買い方など、最初は苦労するところをスムーズにこなせるように出来たため、ストレス削減に役に立ったのではないかなと思う。

皆と合流し、トレキャン宿に着いたもののトレーニング用の地図が用意されていなかった。

オーガナイザーと連絡も取れず、連絡が取れても地図を用意することが出来ないようであった。

スペインのオーガナイザーは手探りであったのか、レベルが低く感じた。

どうにかこうにか地図を入手できたのが、到着して 3 日目。

途中近くの小さな山をインターネット地図で見つけ、走りに行ったりと工夫をしたものの調整するのにストレスが溜まった。私だけでアレンジすることが出来ず、選手たちにも

ストレスがかかってしまい、申し訳なかった。

他、ランニングと宿についていたプールやバスケットで体を動かすことは出来たものの、一番大事なテラインになれるということにあまり時間を費やすことが出来なかったのが残念だった。

前回前々回大会はこういうことはなかったが、何を用意しておいてもらうか、早い段階でオーガナイザー側に具体的をお願いするべきであったと思う。場所も含めしっかり固めておくべきであった。

こういったことはあまりオリエンテーリングが盛んでないところではよくあるようだ。次にそういった場所で開催される際はしっかり準備して欲しい。

外を歩くだけでも熱中症になるほど日差しが強かったため、コンディショニングが難しかったが結城は一人元気に動きまわっていたのをよく覚えている。

★最後に

自分の役割が果たしきれしていないが、選手が笑顔で準備を進めていたことがとても印象に残っている。

結果を残す必要がある大会だったとしても楽しくやってほしいと思っている自分としても嬉しかった。

学生はどんどんユニバーにチャレンジして欲しい。辛い点も多くあるが、同じような立場のメンバーが集まるため楽しくオリエンテーリングを出来るし、海外でのオリエンテーリングを知る良い機会ではないだろうか。今回出場した選手も自分と同じ楽しみができるように後輩に伝えてもらいたい。

選手のみならず、新井・大河内・尾崎・田邊・谷川・寺田・星野・細渕・山本・結城お疲れ様でした。素晴らしい走りだったと思います。そして私からは感謝しています。ありがとう。

私にユニバー帯同の機会を与えてくれた大西さん、西脇さん、吉田さんありがとうございました。

